



新小山市民病院ニュースレター

Shin-oyama City Hospital News letter

Vol.21

1 副院長挨拶 ～ 私には夢がある。～

私には夢がある。

友よ、今日私は皆さんに言っておきたい。

われわれは今日も明日も困難に直面するが、それでも私には夢がある。

これは1963年8月28日、ワシントン大行進においてマーティン・ルーサー・キング牧師が、リンカーン記念館で『人種の平等と、差別の終焉』を呼びかけた有名な演説です。

私にも夢がある。

当院の目標として、達成したい夢がある。

まず、『患者第一主義』を徹底して実現すること。

そして、『すべての職員間の美しい堅固な団結』を創ること。

私が当院に赴任して今夏で10年となりますが、これはこの間ずっと抱いてきた夢であります。仏典には、『異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事叶うことなし』、とあります。つまり、個々の個性をそのまま最大限に生かしつつ、全員が同じ心で進むならば、すべての事柄を成し遂げることができる、ということです。

現在当院では、島田病院長を中心に『コーチングプロジェクト』を行っております。これは一対一の徹底した真心の対話を通して、個々がそれぞれの目標を設定し、各個人が人間的に成長していくこと、そして結果的に組織が発展していくことを目的にスタートしました。私の設定したテーマは、この『同心』について深く考え、職員間の調和の思想を医局、そして院内に広めてゆくことです。

さて、冒頭でご紹介したキング牧師ですが、夢の実現を自分の目で見ることなく、1968年39歳の若さで凶弾に倒れてしまいます。

私には夢がある。

それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、

かつての奴隷の息子たちと、

かつての奴隷所有者の息子たちが、

兄弟として同じテーブルにつくという夢である。

しかし、彼の夢であり、希望であった、『人種の平等と差別の終焉』は、49年後の2009年1月20日に、バラク・オバマという、アメリカ史上初の黒人大統領の誕生という形で、一つの結実をみました。まさに、次世代への同心の継承というのが、いかに重要であるかを物語るエピソードだと思います。

私にも夢がある。

しかし、その夢はすぐには叶えられないかもしれない。

それでも、その夢を達成するために、そういった理想の組織を創るために、努力を惜しまない。

職員全員が『自分が主体者だ』と捉えて、次世代に綿々と、また脈々と、同心を継承できるような、そんな人間組織の構築を目指して、月々日々に少しも弛まずに精進していきたい。

医師会の先生方にも、『さすが新小山市民病院だ!』と絶賛されるような、またずっと可愛がっていただけるような、魅力溢れる病院にしていくために、益々努力してまいります。今後とも変わらず、ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年 6月

副院長・診療部長・循環器内科主任部長 大谷 賢一



目次:

副院長挨拶	1
手術室の充実	2
新任医師紹介	3
連携室からのお知らせ	4

ハイライト

- 外科系各診療科も体制を整え、手術に向け邁進中です。
- 4月に着任しました医師をご紹介します。
- 医療連携室からは、いつもの統計以外に紹介・逆紹介の過去3年間の推移をまとめました。
- とちまるネットは簡単に設定できますので、ぜひ導入いただき、ご活用ください。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

2 TOPICS

手術室部長 栗原 克己

新任医師配属科（形成外科、耳鼻咽喉科）の紹介、心臓手術再開のご案内、そして3D内視鏡導入に伴う新たな次元について紹介いたします。

形成外科は体表の外科を担当する科で、皮膚皮下腫瘍、先天異常、眼瞼の疾患（眼瞼下垂・内反症等）、顔面骨骨折等の外傷などの治療を行います。小児の先天異常を多く経験しており、手足の多指（趾）症、臍ヘルニア（でべそ）、副耳、耳前瘻孔、耳介変形、皮膚腫瘍、母斑、眼瞼下垂などの症例があれば、ご紹介ください。手術予定・入院期間は大学病院より小回りが利き、ご希望に合わせやすい環境にあります。

耳鼻咽喉科では、保存的治療で改善しない中耳炎や副鼻腔炎に対して、手術治療を行っています。専門は中耳炎に対する手術治療です。この中耳炎に対する手術治療については、栃木県内で対応できる施設が少なく、主に大学病院で治療が行われてきましたが今回、新小山市民病院に赴任することになり、大学病院と同等のレベルの中耳炎に対する手術治療を提供して行きたいと思えます。当院では1,2ヶ月以内には手術が可能です。また副鼻腔炎に対する手術治療についても、軽症例や忙しい方には、日帰り手術にも対応いたします。

また、4月からは心臓手術が再開となりました。心臓手術専門麻酔医による高度な管理下で、心臓弁膜症、狭心症、大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤を担当していく所存です。特に動脈瘤や静脈瘤は外科治療が基本となるので心臓血管外科が直接担当いたします。

外科ではこれまでも、大腸癌、ESD・EMR非適応早期胃癌に対して腹腔鏡下切除術を施行してきましたが、新たな次元への飛躍に良質な画像装置の整備が待たれていました。この度最先端の3D映像描出が可能な腹腔鏡システムを導入しました。これにより従来の内視鏡システムでは難しかった、より正確で自然な空間感覚が得られます。把持・剥離・結紮・吻合などの作業がスムーズとなり、内視鏡手術をもっと精緻に、もっとスピーディーに、そして高度に実現可能となりました。

腹腔鏡手術装置
(外科手術用
内視鏡システム)

施設の共同利用について ～連携医療機関からの検査の流れ～

放射線科をご利用の際の、患者さんの当院での流れをご紹介します。

連携機関から放射線に検査予約のTELをいれる



患者さんは紹介状を持参して支援センターへ



支援センターで受付を済ませたら放射線科受付へ

（オーダー発行）

患者さんは検査を実施



検査終了したら放射線科受付へ

記録媒体（CD-R）

記録媒体（フィルム）

とちまるネット

放射線科でCD-R作成伝票を貰って支援センターへ

放射線科でフィルムを貰う

会計へ

帰宅



新任ドクターの紹介 4月採用の新しい医師を紹介します。



**腎臓内科
腎臓内科部長
小林 高久**

平成30年4月から腎臓内科に着任しました小林高久です。栃木県出身で平成11年に山形大学卒業後、自治医大腎臓内科に入局し、診療を続けて参りました。当院腎臓内科では、腎炎や急性腎障害をはじめ慢性腎臓病、腎代替療法（血液透析、腹膜透析）の治療を中心にっております。高齢化、糖尿病の増加により腎臓病人口は増加しており、かかりつけ医の先生方と早い段階から病診連携をはかりながら、進行度、病態に応じた治療、療養を行い、残腎機能をしっかりと保つことが予後やQOLの改善のために重要と考えております。腎臓疾患でお困りの症例がありましたらお気軽にご相談ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。



**外科
第一部長
鯉沼 広治**

平成30年4月より赴任しております。平成21年に続き、2度目の勤務となります。よろしくお願い申し上げます。着任して2ヶ月が経ちますが、新しく整備された医療施設で、職員数も大幅に増え、活気のある中で新鮮さを感じながら過ごしております。私自身は、平成6年に自治医科大学を卒業し義務年限終了後、本学にて消化器外科を専門として参りました。特にここ約10年間は、大腸癌に対する腹腔鏡下手術に注力し、安全かつ先進性を追及して診療を行ってまいりました。これまでの経験や知識が新小山市民病院での診療に役立てればと考えております。小山地区医師会の皆様とともに、地域の医療充実と発展に努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



**外科
第二部長
猪瀬 悟史**

自治医科大学消化器・一般外科に所属し、平成30年4月より新小山市民病院に着任致しました。胃癌、大腸癌、膵癌などの悪性疾患や、胆石、単径ヘルニア、虫垂炎などの良性疾患など、消化器全般における外科治療を行っております。腹腔鏡手術も積極的に取り入れており、大学病院と同レベルの外科治療の提供に努めております。また、患者様1人1人の病状に応じた最適な治療の提供を心がけておりますので、お困りの症例などございましたら、お気軽にご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



**耳鼻咽喉科
部長
中村 謙一**

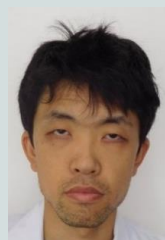
平成30年4月から新小山市民病院耳鼻咽喉科に赴任しました中村謙一（なかむらけんいち）です。平成14年に山形大学医学部を卒業後、同年から自治医科大学耳鼻咽喉科に入局しました。大学病院では中耳炎に対する手術治療や高度難聴に対する補聴器装用指導や人工内耳手術などを担当しておりました。新小山市民病院においても引き続き専門性を生かした医療を提供していきたいと思っております。また耳疾患だけでなく、鼻疾患や頸部良性疾患の手術治療にも対応可能ですので、お気軽にご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



**糖尿病・
代謝内科
部長心得
澁谷 浩史**



**消化器内科
副部長
岡田 昌浩**



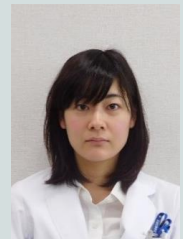
**心臓血管
外科
副部長
榊澤 壮樹**



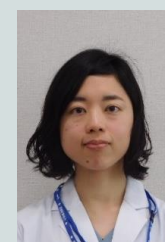
**内科・
総合診療科
医員
平山 果歩**



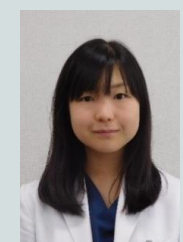
**呼吸器内科
医員
奥山 颯子**



**消化器内科
医員
澁谷 優子**



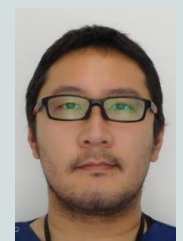
**小児科
医員
福井 沙織**



**小児科
医員
丸 智美**



**小児科
医員
橋本 佑**



**整形外科
医員
天海 裕至**

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関する
こと・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

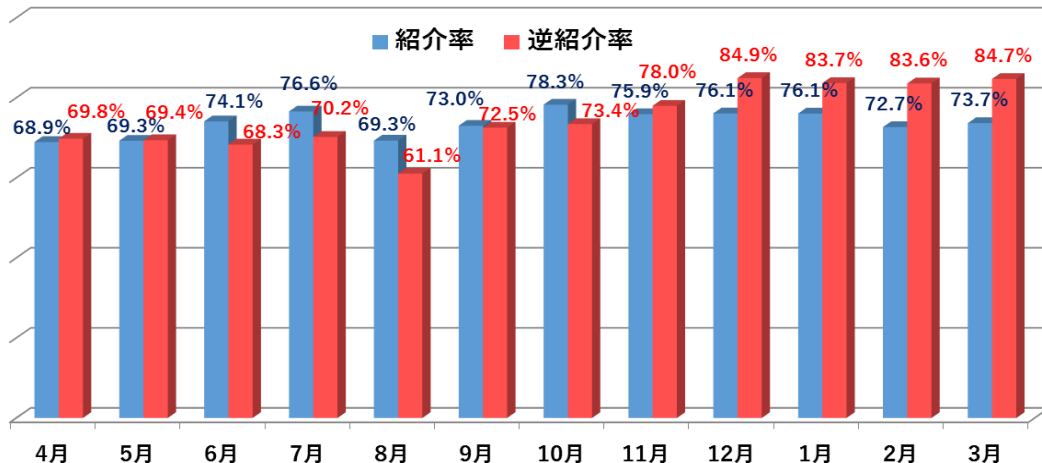
※メールでも受付しております。

医療連携室からのお知らせ

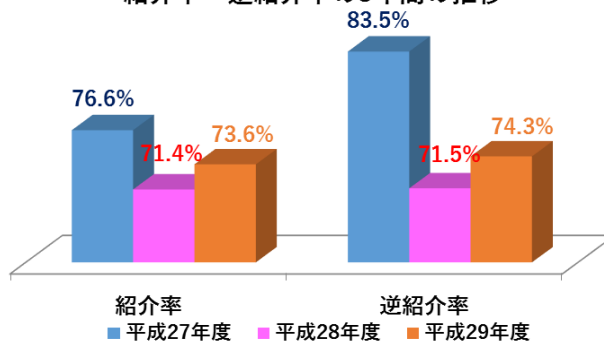
いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

平成29年度の紹介・逆紹介率データを集計しグラフ化しました。

また、過去3年間の推移もグラフ化しました。



紹介率・逆紹介率の3年間の推移



とちまるネットの現状

平成26年より運用を開始しました“とちまるネット”ですが、みなさまのご支援のもと、閲覧施設・登録者様が増えており、平成30年5月現在では、910名のご利用をいただいております。

今後もさらに診療のお役立てにご活用いただけると幸いです。

“とちまるネット”を利用しますと下記のメリットがございますので、是非“とちまるネット”の導入をご検討ください。

- * 患者さんの費用負担はなく無料です。
- * 患者さんの診療情報（お薬、注射、検査結果、レントゲン画像等）が共有化され、より良い医療サービスを効率的に受けることができます。
- * 重複した処方や検査を防ぐなど、医療費の負担軽減に繋がります。
- * 患者さんの診療情報を守るため、ネットワークにはセキュリティ対策がされており、許可された端末以外では閲覧できないので安心です。
- * 患者さんの意思でいつでも中止できます。
- * インターネット回線があれば簡単にとちまるネットの設定ができます。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

